

2014年度自己点検・評価報告書(シート)

【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

《大学》

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

対象部局	神学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.2 教育課程・教育内容
小項目	6.2.1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
要素	必要な授業科目の開設状況 順次性のある授業科目の体系的配置 専門教育・教養教育の位置づけ(学部) コースワークとリサーチワークのバランス(院)
小項目	6.2.2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。
要素	学士課程教育に相応しい教育内容の提供(学部) 初年次教育・高大連携に配慮した教育内容(学部) 専門分野の高度化に対応した教育内容の提供(院) 理論と実務との架橋を図る教育内容の提供(専院)

II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況(達成度)評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. カリキュラム・ポリシーに基づいて、開講科目の体系を内外に明示する。	→カリキュラム・マップの作成(2013年度までに)	C	B	A	A	A
2. カリキュラム・ポリシーに基づいて、開講科目の適切性を検証する制度を構築する。	→既存のカリキュラム研究委員会(学部)による検証および教授会に対する報告書の作成(2013年度までに)	C	C	B	B	A

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

《進捗状況(達成度)報告》 担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

目標1	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか カリキュラム研究委員会(学部)の下、2010年度にカリキュラム・ポリシーに基づくカリキュラムマップを作成すると共に、ディプロマ及びカリキュラム・ポリシーと設置科目の体系を記した関連表を作成した。それらは、学部WEBサイト上に公開している。さらに毎年度学生に配付する『履修の手引』にも掲載し、2011年度より履修指導に活用している。また、教員がシラバスを作成する際の参考としている。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 学生にとっては各ポリシーと科目間の関係、またキリスト教神学を学ぶことの全体像を理解することに役立っている。さらにカリキュラムマップは、授業担当者が科目の到達目標を設定する際に参考にしており、シラバス記述の際に活用している。2015年度に予定するカリキュラム改編に際しては、見直していく必要がある。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 2015年度に予定するカリキュラム改編に際して、カリキュラム・ポリシーや履修モデルなどとともに見直しを行う。	☆
		その他	☆

<p>目標2</p>	<p>A</p>	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか カリキュラム研究委員会(学部)あるいはFD研修会(学部)などの機会に開講科目の適切性について度々議論を重ね、その内容をもとに「教授会」で懇談している。学生による授業評価の結果をFD委員会(学部)において検討し、カリキュラム研究委員会(学部)、教授会に提示しつつ、2015年度に予定するカリキュラム改編に向けて準備を進めている。その際、授業科目の適切性を検証するツールとして科目ナンバリング制度の導入に取り組み、カリキュラム全体を検証・改編する作業に取りかかっている。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か FD研修会(学部)、カリキュラム研究委員会(学部)で、カリキュラム・ポリシーに基づいて各科目の連続性、関連性を明確に意識し、カリキュラムを検証することができた。その結果を踏まえて、2015年度のカリキュラム改編に向けて準備を進めている。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 2015年度に予定するカリキュラム改編にむけて、カリキュラム・ポリシーに基づいたナンバリング制度を導入し、履修モデルなどとともに学生のカリキュラム理解への手段とする。</p> <p>その他</p>	<p>☆</p> <p>☆</p> <p>☆</p> <p>☆</p>
<p>備考</p>			<p>☆</p>